



2021年11月1日発行
 (毎月1日発行)
 1984年8月15日第3種郵便物認可
 発行所／(公財)熊本YMCA
 〒860-8739
 熊本市中央区段山本町4-1
 Tel 096-353-6397(代)



熊本YMCA常議員 リソース推進委員会 委員長
 にしワイズメンズクラブ所属 佐藤 通彦 さん

熊本でも東京でも、YMCA

「YMCAとの出会いは居酒屋ですね」と柔和な笑顔で話すのは佐藤通彦さん。「カウンターに座っていて、よく隣になるなどと思っていた方がYMCAの会員(4面に関連情報)だったんです。「君は真面目そうだね。今度の木曜日の予定を空けておいて」と言われて参加したのが、ワイズメンズクラブ(YMCAの活動を支えるボランティア団体)の例会です」。それから今日に至るまで20年にわたり、佐藤さんはYMCAのボランティア会員として活動しています。

YMCA会員であり続ける理由は?との問いに「早くからいろんな役割を任せていただいて、いろんな人と関わったのがよかったのかな。妻は子どものころからYMCAに通っていて、YMCA学院の卒業生。キャンプのリーダーもしていました。ワイズメンズクラブの活動の中で知り合ったんですよ」と佐藤さん。「娘が3歳の時から6年間、東京に転勤した時も東京や所沢のYMCAでファミリーキャンプに行ったり、遠足に参加したり。東京に行ってもYMCA、熊本に戻ってきてもYMCA。どこにいてもつながることができるYMCAって、いいですね」と振り返ります。「街頭募金やインターナショナル・チャリティーラン(4面に関連情報)など、屋外での活動が好きです。熊本地震や熊本豪雨などの支援活動に関わることができるというのも素敵なことですよね」。YMCAの活動で、大変だと思ったことはないと言います。

”
Y
M
C
A
が
あ
っ
て
よ
か
っ
た
“
の
た
め
に

会社を退職。“空が見える仕事がしたいから”

専門学校を卒業後ずっとIT分野の仕事に就いていた佐藤さんは、今年の8月にある決断をしました。それは、29年半にわたり勤めていた会社を退職すること。「今回、“無職”の私がインタビューに答えていいのかなと思ったんですけど」と笑います。ITの世界には「好きで足を踏み入れた」という佐藤さんですが、一方で、「若い頃から、いろんなことをやってみたいという好奇心があった」と話します。「私は、寝てもさめてもコンピュータのことを突き詰めるというより、「土曜日はバイクに乗って山に行きたい、日曜日は海に行きたい」というタイプ。ふと“空が見える仕事がしたい”と思って」。

退職を機に「車が好きだから」と、大型バスを運転できる大型2種とクレーン車などを扱う大型特殊免許を取得。「次はフォークリフトの免許を取りに行きます。次の仕事は決めていませんが、間口は広いほうが良いですから。教習所には昨年の熊本豪雨で被災したホテルで料理人をしていた人も大型免許取得のために通っていました。再建の目途が立たなかったそうです」。災害で人生が変わってしまった人がたくさんいることを改めて感じたと言います。「私も悩む事がありますよ。でも、皆それぞれ、様々な苦勞をして乗り越えているんですよ。YMCAでも自分と全く違う人生を歩んできた人と話をして共感しあう。そして、一緒にボランティアに関わることができるって、素晴らしいことです」。



鹿児島YMCAのインターナショナル・チャリティーランに遠征。右端が佐藤さん(2019年)

募金活動で大きな輪をつくりたい

11月からスタートしたYMCA年末募金の委員長を務める佐藤さん。先日はボランティア会員とスタッフが共に意見を交わしながら募金活動を進めるための「年末募金委員会」が開催されました。「こどもや若者の支援、国際協力に取り組む募金活動は、YMCAの骨組み。YMCAの存在意義に関わる運動です」と佐藤さんの声にも力が入ります。

これまで仕事で他県を訪れることが多かった佐藤さんは「熊本におけるYMCAの認知度は他県に比べて桁違いに高い」と感じているそう。しかし、行っている事業と活動が伝わっていない場合もあるのではないかと言います。「募金活動は、寄附を集めることが基本ですが、まずはYMCAという組織が何をやっているところなのかを多くの人に知ってもらうことが大切だと思っています。例えば街頭募金は年に1回と限らなくていいし、募金箱を置かせてもらうだけでもいい。そこから大きな輪になっていけばいいですね」。

高校生になったお嬢さんは生徒会の役員に。「娘の世話好きな一面は、子どもの頃からのYMCAとの関わりで培ったものかな? 我が家は、家族皆がYMCAに関わることができて、本当によかったと思っています。同じように、子育て世代の皆さんや子どもたちに、“YMCAがあっよかった”と思ってもらえるように、私にできることがあれば何でもやりますよ」。佐藤さんの挑戦は続きます。

Pickup 秋の収穫特集

「おいもをとったよ」
 リフレッシュおむた
 がまだす隊



「お米、上手に刈れました」
 YMCA学院日本語科
 留学生が稲刈り

「自分でとったリンゴ、
 おいしいね」
 尾ヶ石保育園



YMCA

年末募金

こども 若者 国際協力

出会いとつながりを大切に
これからは希望のあるより豊かな社会をつくれます。

1 2 3 4 5 10
11 12 13 16 17



YMCAはお寄せいただく募金を地域の希望や活力にかえる働きを進めます

こども



野外活動クラブ在籍生
清田 千翔さん(年中)、
麗子さん(お母様)

以前、英会話教室に通い、フィットネスに在籍していたこともあり、私自身YMCAには親しみがありました。千翔が生まれて仕事と子育てに専念していた時、広告で野外活動クラブのことを知りました。近年災害が増えていますし、千翔はひとりっ子です。自然に親しみ、強く生き抜く力を身につけてほしいと思い、入会を決めました。苦手だった虫が触れるようになったり、洗髪を自分でできるようになったりと、娘の成長が見られて嬉しく思います。

YMCAに通えるのは参加費減免制度のおかげです。これからはYMCAでたくさんの経験をしてほしいと思っています。

※参加費減免制度/ひとり親家庭などの理由で経済的な困難を抱える子どもたちのYMCAプログラム参加費を補助する制度。費用は年末募金の一部によって賄われている。

若者



YMCA学院 児童福祉教育科
2012年度卒業生
児童養護施設 愛隣園 保育士
藤田 光剛さん

7年間の幼稚園勤務を経て、昨年から児童養護施設に勤務しています。YMCA学院在学中は毎年、盲学校子どもたちが参加するポニーキャンプにリーダーとして参加。子どもたちが成長していく姿を間近に感じられることに喜びを感じ、もっと子どもたちに関わっていきたく思うようになりました。YMCAでは、授業やキャンプ、リーダー活動などを通して、知識や技術だけでなく、人としての在り方を学ぶことができたと思います。

ひとり親家庭ということもあり、裕福とは言えなかった我が家。YMCA学院の奨学金があったからこそ、3年間通い続けることができました。私の夢を多くの方に応援していただいたことを忘れず、YMCAで学んだことを活かしながら、子どもたちと成長していきたいです。

国際



タイ北部山岳少数民族
若竹寮 在寮生
ピンファ・パーチェックさん

日本の皆さん、お元気でいらっしゃいますか？私は元気です。新型コロナウイルスの世界的な流行拡大は、いろんな面に影響を及ぼしています。私の家族もその影響を受け、農業をしている両親は、以前のように作物を販売することができません。

今年、私は職業学校の3年生になりました。1学期には、コーヒーショップで研修をする機会が与えられ、11月に始まった2学期には学校での通常授業に戻りました。私の学業をサポートしてください、ありがとうございます。卒業するまで、一生懸命がんばります。最後に、皆さんが健康でありますように祈っています。

※若竹寮/タイの山岳民族の子どもたちが共同生活を送りながら街の学校に通えるようにと開設した寮。日本の里親や募金等の支援により運営している。

募金の
使途

こどもたちの
支援

学生・留学生
の支援

健康・福祉
支援

ボランティア
リーダーの育成

国際協力

災害復興支援

募金の方法

持参

お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。

お振込み・ クレジットカード

郵便振替や銀行振込、クレジットカードで受け付けています。お振込み先等はWebサイトをご確認ください。



街頭募金

県内各地で街頭募金を実施します。会場・スケジュールはWebサイトでご案内します。



行事への参加

12月11日(土)には市民クリスマスを開催(4面に関連情報)。新型コロナウイルスの影響を鑑み、各チャリティ行事も工夫をしながら新たなチャレンジをしていきます。

募金箱の設置

設置可能なお店等がありましたら、お申し出ください。



YMCA年末募金

【期間】2021年11月1日～2022年1月31日
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさ

R | E | P | O | R | T

[9月23日⇒10月29日]

自然 思いっきり遊ぼう 園児たちがデイキャンプに参加

3

YMCA水前寺幼稚園、YMCA熊本五福幼稚園の園児(年少～年長)を対象とした「リフレッシュデイキャンプ」を9月23日(木・祝)に開催。園児14名、ユースボランティアリーダー7名、職員2名でYMCA阿蘇キャンプに向かいました。

夏休み直後からまん延防止等重点措置による登園自粛、分散登園などにより、満足に外遊びができない環境が続き、体力の低下や活動の規制など、それぞれ少なからずストレスを抱えていた園児たち。心身ともにリフレッシュしてもらいたいと願いリー

ダーたちと計画しました。

「とにかくリーダーたちと思いっきり遊ぶ」をテーマに芝生広場(星の広場)での鬼ごっこや近くの水源までの探検、レクリエーションなど時を忘れて精一杯遊びました。最後にキャンプ場で拾った立派な栗をお土産に、帰路につきました。後日、保護者より「自分で拾った栗を枕元に大切にしながら寝ていました」「久しぶりに自然の中で遊べたことで、夜もぐっすり眠っていました」と喜びの声が聞かれました。

職員 藤本博人



発足 YMCA宇宙クラブ 第1回宇宙ミーティングを開催

4 9

熊本YMCAで宇宙教育が始まりました。民間宇宙旅行が始まったり、NASAやJAXAの宇宙開発や宇宙ベンチャー企業が活性化したり、いよいよ月や火星を目指す時代となります。

この夏に開催した「種子島宇宙キャンプ」では、宇宙飛行士、NASA関係者等のゲストがリモートで参加。これをきっかけに、宇宙の学びを通して、子どもたちに夢を広げてもらいたいという思いから、「YMCA宇宙クラブ」を発足。9月28日(火)に第1回宇宙ミーティングをオンラインで実施しました。

夏のキャンプで宇宙飛行士の山崎直子さんと子どもたちが交流した様子を紹介。最新の宇宙開発情報にもふれた子どもたちからは「かっこいい!」「ぼくもロケット開発をしたい!」などのメッセージが飛び交いました。宇宙を考えるということはSDGsや科学、語学、自然についても学ぶことになります。今後は、体験プログラムや視察ツアーなども予定。山崎直子さんと

の交流動画はWebで視聴可能です。

職員 中村賢次郎



社会貢献 フェアトレードの推進を応援 2022年度年次総会を開催

1 10

YMCAフィランソロピー協会は、熊本における「企業人の社会貢献」の推進を掲げて誕生し、設立から26年目を迎えました。当協会の年度は10月に切り替わるため、毎年10月に年次総会が開催されます。

10月22日(金)から29日(金)、2022年度年次総会をオンラインで配信しました。今年度は講演会に代えてフェアトレードシティくまもと推進委員会代表理事の明石祥子さんが、フェアトレードをテーマに企業の皆さんに具体的にできる行動について講演。「熊本市はフェアトレードシティに認定されて、

今年で10周年。公正な貿易を目指すフェアトレードは、SDGsすべての項目に関連しています。コツコツと活動を継続し、皆さんとつながることで良い未来を描いていきたいです」とメッセージを送りました。

昨今、感染症や災害等で様々な社会課題が深刻化しています。しかし、社会貢献の歩みをとめることなく、当協会は困難に直面する子どもたちや人々のために「よろこびあえる未来」の実現に向けて進んでいきたいと思ひます。

職員 守田愛沙



明石さんのオンライン講演会の様子

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.2

総主事 光永 尚生



熊本YMCAの使命を、これからも希望への道標とするために

今年の夏、オリンピックとパラリンピックが開催されました。1964年、東京オリンピックが行われたのち、東京YMCAは様々な施設や備品を譲り受け、それらの活用を通して社会に貢献する機会を得ました。このことと、東京YMCAが日本で初めて屋内プールを運営したことは、無関

係ではなかったと思います。また、パラリンピックで活躍した富田宇宙さんは、大会前の練習を熊本YMCAみなみセンターで行う機会がありました。感動をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

パラリンピックの時には、デフリンピック(世界規模の聴覚障がい者の為の総合スポーツ競技大会)、スペシャルオリンピックス(SO・知的障がいのある人々を対象としたスポーツトレーニング・競技大会)のことを想いました。特にスペシャルオリンピックスでは運動を広げるサポートに熊本YMCAの多くの施設、多くの職員がボランティアの指導者として関わり、ワイズメンズクラブをはじめとする会員の皆様も多くのつながりと関わりを持ちました。

そして、1995年以来、リバティドルフィンズ(LD)クラスの運営をはじめ、全国16のYMCAと連携して発達障がい支援のためのプログラムを展開してきました。様々な変遷を経ながらも、常に地域や社会の課題に目を向けて、それを解決しようとする皆さんとの協働を考え、支援、協働、提案などのプログラムスタイルを通して地域での働きを進めてきました。

今、熊本YMCAは、17の施設で幼児教育、社会教育活動、学校教育活動などを通して、家庭教育との連携を模索しながら、そっと寄り添う働きを続けています。1995年に策定された「熊本YMCAの使命」の6領域は、今も昔も私たちの熊本YMCAの方向性を照らす「希望の灯」であり、常に「希望への道標」となります。

Information

行こう 見よう 深めよう

冬の子どもプログラム キャンプ & スポーツスクール



Pickup キャンプ

- 長野チャレンジスキーキャンプ
 - 北海道ダイナミックスキーキャンプ(3月)
- その他、日帰りから4泊まで多彩なキャンプを企画しています。

Pickup スポーツスクール

- 初登場! ZUMBAキッズ
 - 運動機能の向上を目指す「はじめてのたいいく教室」
- 毎年好評の水泳・体操も実施します。



Web申込 11月6日(土)9:00~11月26日(金)12:00

12月11日 Saturday

チャリティー岩永知樹チェロコンサート

音楽 × 災害支援

今年の市民クリスマスはチェリストの岩永知樹さんらを招き、チャリティーコンサートを開催します。益金は「熊本地震」「2020年7月豪雨」復興支援等災害支援活動のために用いられます。

回 12月11日(土) 13:30開場 14:00開演
 場 熊本白川教会(熊本市中央区九品寺2-2-44)
 チケット 全席自由 1,000円(高校生以上)
 チケット取扱 熊本YMCA各施設
 主催 市民クリスマス2021実行委員会
 会場 熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397



11月28日~12月5日

熊本YMCA インターナショナル・チャリティーラン

走る × チャリティー

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、ともに幸せに生きていける社会を目指して、全国で開催しています。今年の熊本大会は、期間中に各自で行ったラン・ウォーク等の距離をオンラインで申告し、総合距離1,000kmを目指します。

回 11月28日(日)~12月5日(日) 個人(小学生以下)500円/個人(中学生以上)1,500円/ファミリー 1家族 2,000円/チーム(5~10名) 10,000円他 ※益金は、YMCAの障がい児支援プログラムに用いられます。 11月23日(火)締め切り。 詳細・お申込みはWebで 熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397



1面に関連記事

会員

希望ある豊かな社会をつくるために 熊本YMCA維持会員入会のご案内

維持会員とは熊本YMCAの活動趣旨に賛同して、会費によって活動を支える皆さんのことです。YMCAの行うチャリティー行事や各種プログラムの企画や運営に、ボランティアとしてご参加いただいています。

会費種別(年度会費:当年4月~翌年3月)
 維持会費A 6,000円/維持会費B 12,000円/維持会費C 18,000円
 /維持会費D 24,000円/維持会費E 30,000円以上/維持会費F(学生ボランティア及び18歳未満) 3,000円
 入会方法 Webサイトで詳細を確認の上、お申込みください。
 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397



回日時 会場 内容 参加費 定員 参加条件 持ち物 対象 主催 締切 申込 問合せ その他

わたしと聖句



日本福音ルーテル大江教会
森田 哲史

ローマの信徒への手紙 6章9節

死は、もはやキリストを支配しません。

別れを想うとき

この原稿の題材について考えている時、祖母が天に召されたとの知らせを受けました。大切な人との別れを想うとき、私は「コーヒーが冷めないうちに」という小説を思い出します。

小説の舞台は、過去に戻れるという喫茶店。いろいろな意味で別れを経験した人たちが喫茶店を訪れ、それぞれ過去に戻っていきます。仕事で海外へと旅立たれてしまった恋人、認知症の夫に忘れられてしまった妻、事故で姉を失ってしまった妹。それぞれ大切な人との別れによって失ってしまった何かを取り戻したいと過去に戻っていきます。しかし、「たとえ過去に戻っても、現実を変えることは出来ない」と決められているというのです。

変わらない現実のために過去に戻る意味はあります。礼拝や祈りは神様との対話であり、その中で自分自身の心を開いていき、すべてを神様に委ね、心の刺が一本一本抜かれていくのです。そのようにして私たちは死や別れを乗り越えていくことが出来るのではないのでしょうか。それが出来るのも、キリストの十字架によって私たちの罪が赦されたからなのです。

教会での礼拝や祈りにも同じような役割があります。礼拝や祈りは神様との対話であり、その中で自分自身の心を開いていき、すべてを神様に委ね、心の刺が一本一本抜かれていくのです。そのようにして私たちは死や別れを乗り越えていくことが出来るのではないのでしょうか。それが出来るのも、キリストの十字架によって私たちの罪が赦されたからなのです。

発行所/(公財)熊本YMCA
 〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
 TEL 096-353-6397(代)
 発行人/光永 尚生 編集人/辻 健太郎
 定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
 地球環境の保全 ウェルネス活動 平和な世界

2021年度基本聖句

コリントの信徒への手紙二 4章18節
 わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。